



理学部同窓会だより



発行：2015年12月1日
発行者：学習院大学
理学部同窓会

特集

表彰プロジェクト

理学部同窓会賞受賞者にインタビュー

理学部同窓会では現役の学生を応援し、若い世代に同窓会の活動を知ってもらおうという趣旨で、昨年より卒業時に優秀な学生を表彰しております。2年目になる今年に受賞された方々は左記の4名です。

受賞者

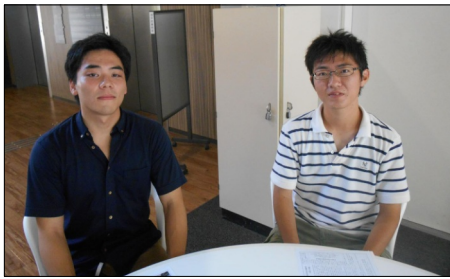
物理学科 伊藤竜朗さん

化学科 守屋有香さん

数学科 井上瑛さん

生命科学科 比留間翔太さん

4人の方にインタビューをしていろいろ話を伺いました。



左：数学科 井上さん

右：物理学科 伊藤さん

①現在の状況

②そこでのやりがいや苦勞

③大学生活について

④将来の夢や目標

物理学科 伊藤竜朗さん

①大学院に進学し、西坂研究室でバクテリアの運動を研究しています。

②バクテリアの運動の中で何を研究したら面白いか？を考えることが苦勞です。また面白さを伝えることも苦勞です。

③朝型なので毎朝5時に起きて、7時には研究室にきています。趣味はテニス、大学に入ってから将棋部です。

④5年後には社会に貢献できていけばいいかなと思います。直近の目標だと、金沢での生命物理学会です。ポスター発表するので、これから準備に頑張ります。

化学科 守屋有香さん

①大学院に進学して、秋山研究室で触媒を用いた有機合成化

②実験は全然うまくいかないことが多いのですが、その原因を自分でちゃんと考えて改善して結果を出したいですね。

③プロセス化学国際シンポジウムで発表する機会がありました。自分の研究を多くの人に発信できるというのは大変でしたが、やりがいがありました。

④秋山研究室は割と夜遅くまで残っている人が多いのですが、密度の濃い時間を要領よく進めていく訓練も大事だと思うので、私は遅くまで実験はしません。

③大学では、三曲研究部絲竹会という和楽器のサークルでピアノをやっています。

④将来はできれば化学系の研究職につければ理想的ですが、とりあえず自立した人になりたいです。

数学科 井上瑛さん

①現在社会人一年目。N T T東日本で8月から本配属されて電話やインターネットの保守などをしています。

②実際に太い回線や装置などの保守をしていると皆さんのインターネット環境を支えている仕事だとやりがいを感じるとともに、壊したら大変だと責任も感じます。

③卒業時の研究はガウスボンネの定理。数学科では無理難題を何とかする能力を培ったので、その経験は今に活かしています。教職も取りました。大学の水泳部で背泳。今も一週間に一回は泳いでいます。

④まずは会社全体を見られるようになりたいです。いずれは世の中全体が見られるような人になりたいので、いろいろ経験したいですね。

学反応の研究をしています。



化学科 守屋さん

生命科学科 比留間翔太さん

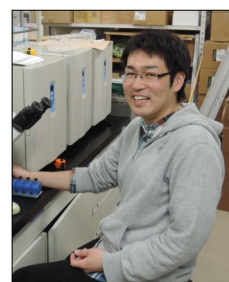
①北海道大学の大学院に進学し、生命科学大学院生命融合科学コースで上原研究室(細胞装置学研究室)に所属しています。

②一人暮らしを始めたばかりなので、生活に慣れることそのものに苦勞しました。研究については初めてのことも多く大変ではありますが、楽しんで取り組んでいます。少しずつ前進していく感覚があり、やりがいがあります。

③大学では馬淵研究室に所属して、「分裂可能な人口小胞の形成」をテーマに実験しました。細胞が分裂する仕組みを明らかにするため、分裂するときに見える「リング」の形成を目指しました。結果的に

「リング」はできませんでしたが、小胞内に動的な変化を起こすことができるようになりました。

④今の目標としては、いつになるかわかりませんが、現在の研究に何らかの結果を出した



生命科学科 比留間さん

いと考えています。

4人ともそれぞれ充実した大学生生活をおくり、しっかりと研究成果をあげています。

実は、五つ目の質問に「理学部同窓会についてご存知ですか？」と聞きました。残念ながら、4人とも同窓会の活動については全く知らなかったと正直に答えてくれました。ですが、同窓会賞の受賞は素直に嬉しかったこと。昨年からはスタートした表彰プロジェクトについては、まだまだ認知されていないようですが、これからも長く続けて、次世代の若い方を応援していきたいと思えます。

インタビューは理学部同窓会ホームページにて閲覧できます。楽しい記事になっていますので、こちらもぜひご覧ください。

<http://gakushuin-onyukai-toranch.jp/rigakubu/>



理学部同窓会の就職支援活動について

就職支援委員会 佐野義規 (昭48数)



佐野委員長

理学部同窓会は、同窓会発足当初から永年に渡り、多くの理学部OB・OGの支援により、理学部学生への就職支援活動を実施しています。現在は、理学部同窓会組織の中に就職支援委員会があり、理学部就職支援担当窓口の教授と連携し、活動しております。活動方針は、世間の就職活動に惑わされることなく、学習院大学理学部の理系の学生らしさを活かした、就職支援・指導を実施することです。

近年の就職活動は、文系学生の就職活動と同様に、インターネットによる応募に奔走しているのが現状です。3年生の後期(10月頃)から、長期間(約1年間)に渡り、就職活動に時間を費やすこととなり、大学時代での一番重要な時期(3〜4年生)に専門学科やゼミでの勉学の機会を失ってしまっていることが危惧されています。このような状況を回避するため、他大学にない学習院大学理学部学生の良さを

を活かした就職支援活動を行い、早期に就職先企業を決定し、落ち着いた勉学の機会が持てるようにしていくことを目指しています。具体的な就職指導として、まず自己分析を行い、自分のやりたいこと(適性)を明確化していく、企業実態を把握する(業界研究、企業研究等)、希望する仕事の内容(業界、職種等)を明確化する等を行っております。特に業界研究では、理学部OB・OGのご協力で、理学部学生の就職先が多い業界(製薬、化粧品、化学、素材、電気、精密、機械、情報、システム等)について、業界セミナーを行うだけでなく現役学生との懇談会も実施し、企業の真の姿を知り、自分の進むべき方向を決める参考としてもらっています。就職先企業の選定にあたっては、学習院理学部に直接、推薦入社依頼のある企業(上場大手企業等)や募集要項が直接、理学部に來ている企業(入社実績のある企業)からまず選択するよう指導しています。理学部学生の最も不得意な面接については、全学部対象にキャリアセンターが実施する面接対策セミナーで、就職のための社会人基礎力(挨拶、

コミュニケーション力、文章力等)を学び、実際の面接指導については理学部OB・OGにより、理学部独自の面接指導を行っています。面接指導では、文系学生がよく話題にするクラブ活動やアルバイト経験での活躍の内容ではなく、理学部学生として、きちんと勉学(実験、演習等)に励んできたことを話すように指導し、履歴書についても、勉学をする中での自らの努力や自分の考えを記載するように指導しています。今後も、伝統あるこのような就職支援活動を継続していくためには、実際に現役として、各企業でご活躍されている理学部OB・OGの方々

の絶大なご支援が是非、必要です。今後とも、現役学生のために、暖かいご支援をよろしくお願いいたします。



理学部同窓会活動基金に

ご協力頂きありがとうございます

理学部同窓会では『学習院大学理学部同窓会活動基金』へのご支援を皆様にお願ひしているところですが、現時点で88万8千円もの寄付を頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。当同窓会は常任幹事会を中心として6つの委員会(運営・組織・会誌・技術交流・就職支援・広報)を設け、従来の活動に加えて機関誌『想』の年2回発行、技術交流会の年5回開催、教職員と一体化した理学部独自の就職支援活動の展開、卒業式での『理学部同窓会賞』表彰、オール学習院の集いに於ける会員相互交流の場である『理学部同窓会の部屋』開設、理学部同窓会ホームページの運営など、在校生および同窓会員皆様のために、幅広く活動しております。また新たな在校生支援活動にも力を入れていく所存です。

今後の同窓会活動充実のため、また将来に多大な可能性を秘めた現役学生のために、引き続き『学習院大学理学部同窓会活動基金』へのご支援を賜りたく存じます。なお、前記基金は下記のいずれかの口座へお振り込みをお願い申し上げます。お振り込みの際には必ず卒業年、学科、お名前をご明記ください。以上、宜しくお願ひ申し上げます。

(会長・服部充雄)

【学習院大学理学部同窓会活動基金】
 1口：3,000円
 できるだけ複数口の寄付をお願いします。
 振込先口座 学習院大学理学部同窓会
 ①三菱東京UFJ銀行 八王子中央支店 普通2383902
 ②ゆうちょ銀行 019店 当座0088343

編集後記

「表彰プロジェクト」の記事は真船貴代子さんが(昭53物)が学生さんから話を聞いて纏めました。紙面に掲載しきれない話はウェブサイトに掲載したので是非ご覧ください。受賞された学生さん方は同窓会の活動について殆どご存知ありませんでした。「想」を通じて現役の学生さん達にも同窓会の活動を知って頂けるよう取り組んでいきます。